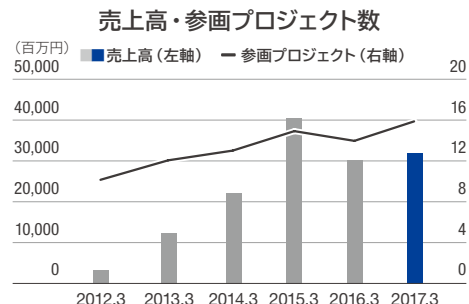


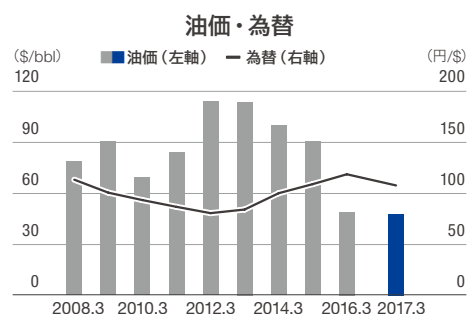
# OVERSEAS BUSINESS

**概要** チャレンジ2020ビジョンで掲げた当社グループの成長の柱となる事業への成長を目指し、海外拠点・人員の拡充を推進するとともに豪州、北米および東南アジア地域におけるLNGや天然ガス関連事業に参画してきました。今後は2017年4月に設立した「海外本部」が中心となって、さらなる事業展開の検討を行っていくとともに、エネルギー価格変動影響を低減したポートフォリオの構成やさらなる既存事業の付加価値向上も進めていきます。

売上高	参画プロジェクト数
319億円 2017年3月期	16件 セグメント資産2,707億円 (2017年3月末現在)



- 強み**
- 国内で培った中下流事業に関するノウハウ
  - 原料調達活動や事業参画等において得られたグローバルネットワーク
- リスク**
- 各国固有の法規制や商習慣への対応等による事業運営の停滞、費用負担増
  - 上流事業における、原油・ガス価格及び外国為替相場の変動による収支への影響



## 「LNGバリューチェーンの構築」を目指します

**北米** 事業参入機会が豊富な北米においては、上流事業、ガス火力発電事業、ガス・電力供給事業に取り組んでいきます。将来的には、上流事業からガス火力発電・ガス供給事業への安定的なガス供給といった事業間の相互効果を生かしながら、北米における「LNGバリューチェーンの構築」を目指します。

**上流事業** 資源価格の動向を注視しつつ、ガス田の生産性・埋蔵量を慎重に確認しながら、経験あるオペレーターと提携し、優良資産へ投資していきます。2017年5月に、テキサス州のガス開発事業会社への出資を決定、権益を取得しました。

プロジェクト名	参画時期	出資比率 (当社持分)
米国 バーネット・シェールガス開発事業	2013年 3月	25%
米国 イーグルフォード・シェールガス開発事業	2016年 6月	25%
米国 東テキサスガス開発事業	2017年 5月	30%

**中下流事業** ガス発電事業については、電力需給や他電源との競合状況、州ごとの規制や事業環境を踏まえ、参画案件を厳選していきます。当社はこれまでに、米国の大きな需要地である東海岸の2件のガス発電事業に参画しました。

ガス供給事業については、需要開発などの当社グループの強みを生かしながら、事業への参画を図ります。

プロジェクト名	参画時期	出資比率 (当社持分)
米国 ニューヨーク州・天然ガス火力発電事業 (エンパイア発電所)	2016年10月	25%
米国 ペンシルベニア州・天然ガス火力発電事業 (バースボロ発電所)	2017年 4月	33.33%

## 既存プロジェクトの運営・管理に注力していきます

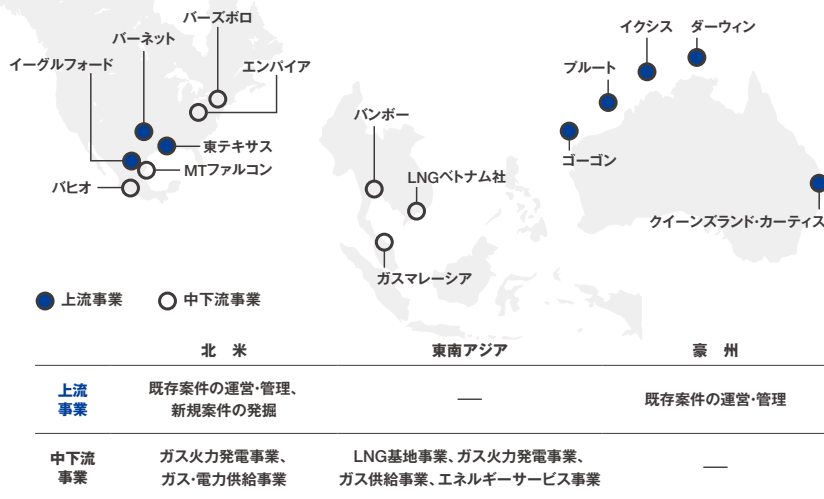
**豪州** 極東への一大LNG供給地として成長を遂げた豪州においては5つのプロジェクトに参画、既に4つのプロジェクトが稼働しています。今後稼働を控えるイクシスプロジェクトを含め、5つの保有資産の価値最大化に向けた運営・管理に引き続き注力していきます。

**上流事業** 既に稼働を開始した4つのプロジェクトは、順調に稼働しています。今後はイクシスプロジェクトを含めた5プロジェクトの価値の最大化に向けた運営・管理を推進していきます。



## グローバル展開を加速しています

過去1年間において、当社グループは参入機会が豊富な北米および天然ガス利用が拡大している東南アジア地域において、6件の案件への参画を決定しました。今後は、北米と東南アジアを中心としたさらなる新規案件への参画に加え、過去の事業経験も活用したリスク管理・事業付加価値向上を進め、収益の向上・安定化を目指していきます。



### 東南アジア

国策により天然ガス利用を拡大し、大きなエネルギー市場としての成長が見込まれる東南アジアにおいては、LNG基地事業、ガス火力発電事業、ガス供給事業、エネルギーサービス事業に取り組んでいきます。2015年に開設したインドネシア・タイ・ベトナムに加え、2017年4月にフィリピンに拠点を設立しました。将来的には、東南アジア地域での「LNGバリューチェーンの構築」を目指します。

### 中下流事業

現地政府との関係構築、地元企業との提携等を通じ、政策・制度を含む事業環境の変化に注視しながら、中下流事業に参画していきます。2016年10月にタイの天然ガス発電事業に参画しました。

プロジェクト名	参画時期	出資比率(当社持分)
タイ バンボー発電所	2016年10月	28%

### 東南アジアにおける拠点



プロジェクト名	LNG生産能力	参画時期	出資比率(当社持分)	生産(稼働)開始時期
ダーウィン	300万t/年	2003年	3.07%	2006年1月
プルート	470万t/年	2008年	5.00%	2012年4月
ゴーゴン	1,560万t/年	2009年	1.00%	2016年3月
クイーンズランド・カーティス	850万t/年	2011年	1.25% (ガス田) / 2.50% (第二液化プラント)	2014年12月
イクシス	890万t/年	2012年	1.575%	2018年3月までに生産開始予定